

- 1 報告地区 : 旭川
- 2 事例報告学校名 : 旭川市立神楽岡小学校
- 3 報告者職・氏名 : 校長 吉 崎 隆
- 4 キーワード : 学力向上を目指した取組

旭川市立神楽岡小学校

～共に高め合う できるできる岡小っ子の育成～

〈よく学ぶ〉 〈よく気づく〉 〈よく協力する〉

1 はじめに

本校は、平成28年度に開校50年目を迎える歴史と伝統のある学校です。神楽岡公園、神楽見本林、美瑛川などの自然に恵まれ、また、郷土博物館、クリスタルホール、緑のセンター、科学館「サイパル」などの文化施設にも恵まれています。学級数17（含特別支援学級4）、児童数393名の学校規模で公開研究会を昨年度に引き続き今年度も実施予定です。昨年度の学校評価（自己評価・学校関係者評価・保護者アンケートなど）での結果から、今年度はやさしい心を基盤に、学力の向上に取り組むことを確認し、実践を積み重ねています。

今年度の重点教育目標である「共に高め合う できるできる岡小っ子の育成」を目指し、全教職員が一体となって取り組んでいる実践の一端を紹介します。

2 できるできる岡小っ子の育成に向けて

（1）指導方法改善の工夫（TT および習熟度別学習）

算数科を中心にTT指導や習熟度別少人数指導の授業を取り入れ、きめ細かな指導を推進し、授業改善を図っています。とりわけ、習熟度別学習では、習熟度の早いグループには、発展的な内容を盛り込んだり、習熟度の遅いグループでは、更に少人数化を図ったりして、理解度を高める工夫を図り、個に応じた指導の充実を推進しています。児童の自尊心を高め、「分かる」授業を目指しています。取組においては、週単位での配置表を作成し、確実に実践ができるように配慮しています。



習熟度別少人数指導によるきめ細やかな指導

（2）学習のきまりやルールを共有化

学習道具などの基本的なきまりやルールを共有化し、各学年の学習規律に差がでないように配慮しています。ノートの種類、ノートづくり、学習時の約束やルール、発表時の約束やルールなどを明確にしています。子どもたちは、学習時のきまり事が明確にしてあることで学習への集中力が増し、学習への自信が芽生えつつあります。



発表のきまりを共有化

(3) 「算数お勉強会」の実施

「算数お勉強会」は、学習する機会を拡充し、学習の習慣化や学習内容の定着を図り、子どもたちの学力向上に資するためのものです。具体的には、休み時間や夏季と冬季の休業中に、希望する子どもたちが学習します。算数を中心に個別指導による学習を進めています。

今後は、学習の内容を工夫することで参加人数を拡充できるように配慮したいと考えています。



「算数お勉強会」

(4) 自信をもって学びを高める算数科指導

子どもたちに確かな学力を身に付けさせるためには、教員の資質・能力の向上は欠かせません。本校では、これまでの研究の成果と課題を踏まえ、算数科の目標に迫るための言語活動の充実に視点を当てた授業づくりに取り組んでいます。指導主事を要請しての研究実践交流会を実施しながら切磋琢磨しながら資質向上を図っています。



「研究実践交流会」

(5) 地域の教育資源を活用する総合的な学習の時間

横断的・総合的な課題や児童の興味・関心に基づく学習を進め、学び方や考え方、思考力・判断力・表現力を育成しています。学習内容によって「育てる力」を明確にしながら地域の教育資源を積極的に活用しています。本校から近い、神楽岡公園、旭川駅、買物公園等の施設を見学したり、学習を深めたりすることで、総合的な力を高めています。



「総合的な学習の時間」

(6) 読書活動の推進

学校図書館補助指導員が学校図書担当者と連携しながら、学校図書館機能の充実を図り、ハード・ソフト両面の環境を整え、児童の読書活動や日常の学習活動などをしっかり支えています。



「読み聞かせ」

3 おわりに

子どもたちに確かな学力を身に付けさせることは、本校においても最重要課題です。そのためには、教員の資質向上に努めたいと考えています。